

ICRP 次期主勧告ウェビナー

- 【主催】日本放射線影響学会（放射線リスク・防護検討委員会、企画委員会）
- 【開催日】2023年4月28日（金）、6月（未定）、8月4日（金）、10月（未定）
- 【開催方法】オンライン開催（Zoom）
- 【参加費】無料
- 【定員】各回100名＊先着順

【趣旨】

日本放射線影響学会（放射線リスク・防護検討委員会と企画委員会による合同企画）では、この度、「ICRP 次期主勧告ウェビナー」を4回にわたって開催することに致しました。

前回の主勧告（ICRP Publication 103；2007年発行）から15年以上が経過しました。ICRPは、これまでに蓄積されてきた最新の科学的知見を基に、主勧告の改定に向けて検討を開始したところです。次期主勧告は2030年ごろに発表予定といわれています。次期主勧告により、放射線防護の考え方や枠組みに関する変更が予想され、法令改正を含めた対応が必要になると考えられます。本ウェビナーでは、ICRPで活動している先生方を中心にお招きして、次期主勧告に関する最新の疫学・生物影響に関する動向を中心に解説して頂きます。

本ウェビナーを通して、1)放射線防護やICRPの活動への関心を広げる、2)次期主勧告（疫学・生物影響に関して）で何が変わろうとしているのかを知る、3)防護に繋げるための生物研究の課題を参加者と共に見出していく、ことを考えております。

皆様のご参加をお待ちしております。

【プログラム】

第一回（4月28日（金））16:00～17:30

申し込み：4月21日（金）までに下記のURLよりお申し込みください。

URL：<https://forms.gle/DV7BhcJpb174CxTY6>

座長：小嶋光明（大分県立看護科学大学）

- 1) 放射線生物研究の意義と今後期待される生物研究 16:10～16:50
講師：島田義也 先生（環境科学技術研究所）
- 2-1) ICRPの活動とICRP2023の紹介 16:55～17:15
講師：神田玲子 先生（量子科学技術研究開発機構）

2-2) 日本放射線影響学会第 66 回大会の紹介 17:20~17:30

講師：柿沼志津子 先生（量子科学技術研究開発機構）

第二回（6 月（未定）（金））16:00~18:10

申し込み：4 月 28 日（金）以降に予定

座長：孫略（産業技術総合研究所）

1) 電離放射線の非がん影響（眼疾患、循環器疾患、神経疾患）16:05~17:05

講師：浜田信行 先生（電力中央研究所）

2) 低線量・低線量率における放射線リスク推論 17:10~18:10

講師：甲斐倫明 先生（日本文理大学）

第三回（8 月 4 日（金））16:00~17:50

申し込み：6 月に予定

座長：小林純也（国際医療福祉大学）

1) RBE、線質係数、および放射線加重係数 16:05~16:45

講師：佐藤達彦 先生（日本原子力研究開発機構）

2) 放射線の継世代影響：マウスでは観察されてヒトでは観察されない理由
16:50~17:50

講師：中村 典 先生（放射線影響研究所）

第四回（10 月（未定）（金））16:00~

申し込み：8 月に予定

座長：戒田篤志（東京医科歯科大学）

1) 原爆被ばく者の固形がんにおける線量反応関係の最近の知見

講師：坂田 律 先生（放射線影響研究所）

2) 医療ひばく健康リスク

講師：吉永信治 先生（広島大学）

【お問い合わせ先】

日本放射線影響学会放射線リスク・防護検討委員会

小嶋光明 / 恵谷玲央

E-mail: jrns.rrp@gmail.com